

編集後記

平成19年度に引き続き、平成20年度も当センターのメンバーが大きく変わりました。

井上金治前センター長のご退任に伴い、理工学研究科生命科学部門分子生物学領域から円谷陽一教授をセンター長にお迎えしました。また、機器分野所属の専任教員であった青木良夫准教授がご転出され、その後任として理工学研究科物質機能領域から安武幹夫講師が着任しました。また、センター設立当初からの長きにわたり、機器の管理やセンターの運営など多方面にわたって多大な尽力をされてきた久保正雄主任技師は定年となりましたが、引き続き非常勤職員として、機器の運営管理に参加していただき、後進の指導などにあたってくださいています。

また概算要求事項に関しては、今年度も機器分析分野に「高感度化核磁気共鳴分子構造解析システム」が採択・導入される運びとなりました。これは当センターに既設の核磁気共鳴装置(DRX400)の超電導磁石にヘリウム冷却式プローブを装着することで高感度化をはかるものです。これによって従来をはるかに上回る感度での測定が可能となり、微量の天然物や有機化合物の測定が容易になることが期待されます。

最後になりましたがお忙しいところを快く原稿をお寄せいただきました執筆者の皆様方には、この場をお借りして御礼申し上げます。また、この機関誌の構成と編集作業、著者及び印刷所との連絡等は理工学研究科博士後期課程の菅谷知明君、新美智久専門技術員の御世話になりました。

(文責 藤原 隆司)

(文責 藤原 隆司)

記事訂正

前号4ページ図中におけるビスルテノセニルテトラチアフルバレンの構造図の中心金属がRuではなくFeになっておりました。

お詫びして訂正致します。

MaLS FORUM

埼玉大学総合研究機構

科学分析支援センター機関誌

Vol.6 2009. 1

発行者 埼玉大学 科学分析支援センター
さいたま市桜区下大久保255

URL : <http://www.mlsrc.saitama-u.ac.jp/>

TEL 048(858)3670 (ダイヤルイン)

FAX 048(858)3707

印刷所 文進堂印刷株式会社

さいたま市岩槻区仲町1-10-13